

「手話と音声言語が同格とい  
うのは、私にとって目からウロ  
コでした」

言語はどのようにして  
生まれたのか。私たちの  
脳は言葉をどう扱って  
いるのか。東京大学の酒井  
邦嘉・助教授は身近であ  
りながらよくわからない  
「言語と脳の関係」の解  
明に挑んでいる。そして  
日本人に外国語が苦手な  
人が多いわけがわかった  
そうだ。

「外国語が苦手という  
より、日本語が得意なこ  
とがポイントです。私た  
ちの脳は日本語理解のた  
めにチューンアップ(調  
整)されています。日本  
語に最適になるよう言語  
の回路が作り込まれてい



## 言語と脳の謎を解く



酒井 邦嘉氏

のと似ています。人間の  
脳がすごいのは、六歳く  
らいまでの幼児期に日本  
語と英語に触れる環境に  
いれば、両方にチューン  
アップできることです」  
——手話も同じ回路を  
使うそうですね。

「手話は人工的なサイ

るため、後からほかの言  
語に合わせるのは大変な  
ことなのです」

「チェスの世界チャン  
ピオンに勝つために開発  
されたコンピュータで  
は将棋をうまく指せない

ン(合図)ではなく、声  
による言語と同格の自然  
言語です。手話環境で育  
つ子供は自然に文法を備  
えた手話を使うようにな  
ります」

「私が米マサチューセ  
ット工科大学のチョムス  
キー教授のところへ留学  
した時、聴覚の不自由な  
研究者がいて、手話や音  
声言語に共通な普遍文法  
の解明に取り組んでいま  
した。彼のためにすべて  
の講義には手話通訳者が  
参加していました」  
——類人猿は文法を持  
つ手話はできませんね。  
「チンパンジーが言語  
を使えないのは、のどの  
構造が発話に適していな  
いからだとの説がありま  
した」

「科学の面白さは、自  
分で考え、わかるプロセ  
スにあります。だれでも  
ない自分の頭で考えて、  
わかる喜びです。厳しく  
もあり、楽しくもありま  
す」  
(聞き手は科学技術部長  
滝順一)

らです」  
——脳科学は今が旬で  
すか。  
「脳科学はすでに百年  
以上の歴史があるのです  
が、科学としては萌芽(ほ  
ろが)的な時期で、様々  
な発想が出てきて研究に  
生かせるのが魅力です。  
私は最初、物理学を志し、  
生物学、そして脳科学に  
転じました。本質的に重  
要なことを究めるには学  
問の境界など関係ない  
と、恩師から教えられま  
した」